

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.21

令和5年1月6日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

「がんばろう」を無意識に使っていませんか？

2023年の幕開けです。新年おめでとうございます。今年も頑張りましょう。

『先生は“がんばろう”を言い換える名人であってほしい。』

これは、日本教育大学院大学の7～8年前のキャッチコピーです。「なるほど！」と感心しますし、冒頭のあいさつの言葉を含め、そうありたいと改めて思わせてくれる言葉です。

授業では、子供が考えや感想などを書く場面などを意図的に取り入れます。でも、ノートに、「すごい」「おもしろい」「かわいそう」「きれい」という抽象的な言葉ばかりが並ぶといったことも少なくありません。「語彙が乏しいから」という一言で片づけてしまってはいけないように思います。より具体的な表現になるように指導・助言を繰り返し、子供の思いが最大限に相手に伝わるような適切な表現を探すようにします。食リポは、まさにこうしたことが凝縮されているようにも思えます。

「おいしい」「うまい」と満面の笑顔で伝えるキャラクターもいますが、一般的には感じられた味わいや食感などをどのような言葉を使って視聴者に届けるかが問われます。ただし、言葉のテクニックに陥ってしまうと、料理も視聴者も冷めてしまうことになりそうです。表現を駆使したり工夫したりすることを子供だけに求めるのではなく、私たちも意識することが大事だと考えます。



さて、「がんばろう」という言葉ですが、教員だけに限らず、大人が子どもに対して無意識に使いがちな言葉です。この言葉を使用する場合、2つの問題があるように考えます。

一つは、「何をがんばるのか」「どうがんばればよいのか」といった具体的なイメージを示さず、あるいはイメージできる材料なしに使われることが多いということです。

もう一つは、そもそも子供たちの多くが、自分は「がんばっている」と思っていますし、実際ががんばっている場面が多いということです。がんばっている子供に「がんばろう」「がんばって！」と言うことほど、残酷で苦痛となる言葉かけはないのかもしれませんが。

身近で簡単な言葉にこそ、大人たちはその使い方を十分注意する必要がありそうです。安易に「がんばろう」と言うのではなく、その時その場における適切な言葉を探す努力を怠ってはいけないと考えます。でも、「がんばろう」以外の言葉が見当たらないときはどうするか。その時は、「がんばろう」の前に「いっしょに」というワンフレーズを添えるだけで、優しさや包み込む温かさが伝わるかもしれません。こうしたことを意識しながら続けたいと考えます。



新年を迎え、新たな志を立てた人も多いことでしょう。そうした子供たちを応援できるように、私たち大人が“言葉かけの名人”“言い換えの名人”を目指しませんか？一緒に！

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。



各種たよりやお知らせプリント等で各種行事のご案内をしておりますが、「もう少し早めに知りたい」といった声も聞かれます。HP「行事予定」にある年間行事をまずご覧ください。残念ながら、近くならないと詳細をお伝えできない内容もあります。ご了承ください。

3学期の生活目標
外で元気に遊んで
丈夫な体をつくろう

6	金	3学期始業、短縮3校時 11:10 下校	20	金	まなびくらぶ④
10	火	給食開始、書初め④⑥、5年5校時日課	21	土	PTA資源回収 <small>※丸数字は学年です</small>
11	水	定例研 13:10 下校、ホワイトスクール⑤(～13日)	23	月	校内書き初め参観(～27日)
12	木	ミルク教室②	24	火	生活習慣チェック(～30日)、まなびくらぶ③
16	月	身体計測①～③、書初め③⑤	25	水	クラブ(クラブ見学③)
17	火	身体計測④～⑥⑧、まなびくらぶ③	27	金	まなびくらぶ④
18	水	委員会活動、SC 相談日	31	火	生活習慣チェック回収、まなびくらぶ③

自分の体を知る、見つめ直す



1月は、新たな気持ちで健康な生活をするための取り組みを2つ計画しています。

新体操の指導をされている飯田まぶき先生を特別講師にお招きして、体ほぐし運動を中心に3～6年生とたんぼぼ学級で授業をしていただきます。また、6月の水泳指導に力を貸してくださった地域スポーツクラブのメガロス社には今回、1,2年生とたんぼぼ学級対象に自分の体をよく知るための出前授業を行っていただきます。

- (1) 体ほぐし運動：1/19日㉔⑤, 20日④, 23日⑥, 26日④③, 27日③, 30日⑥ ※2月は下段
 (2) メガロス出前：1/17日㉔①, 18日② 2/2日⑤, 3日④, 13日㉔③, 16日③

※丸数字は学年です



おねがい

タブレットを大事に扱ってくださいね

全校児童がタブレットを使用して学習しています。当然のことながら低学年と高学年では使い方や頻度が違います。また、4年生以上は家庭への持ち帰りをして、家庭学習にも対応できるようにしています。

しかし、校内外の場所を問わず機器の故障や破損が目立つのが現状です。市内全体ではその数が年間2千件を超えており、1台当たりの修繕にかかる費用は想像する以上に高額です。「不安定な場所に置いた」「無理やりコードを引っ張った」「バッグを振り回した」といった扱い方が原因となるケースも散見され、気をつければ防げたはずの事故は少なくありません。

修理は市川市が行っていますが、時間がかかって児童の手元に代替りのタブレットが提供できなくなることも今後想定されます。私物ではないからこそ丁寧に扱える子供たちであってほしいと考えます。ご家庭でも扱い方について、今一度ご確認くださいませようお願いします。

